

## 事業計画書

事業名	えんがわぼっこ5周年記念誌
実施箇所	佐久市下小田切135-5
実施期間	事業開始予定年月日 平成31年1月1日
	事業終了予定年月日 平成31年3月31日
事業概要	<p>&lt;事業の目的及び達成目標&gt; 毎週日曜の午前につながりをつくる居場所を開き、前半は「星野富弘さんの生き方を学ぶ」や「日野原先生のあゆみを知る」とか「歌声喫茶」などで学び合い、後半はお茶を飲みながら楽しい交流会で支え合う関係が出来てきている。地域の居場所として発足し来春5周年。えんがわぼっこ5年間の経過や成果、参加者の声、支援をしてくださる声、注目されていると取り上げられたマスコミなどの資料をまとめて記念誌を発行する。この発行によって、自らの今後の発展と他の地域でも居場所が広がるように活用をしていきたい。</p>
	<p>&lt;事業の内容&gt; &lt;記念誌の内容&gt; ①居場所発足経過や5年間のあゆみ ②これまでの成果や反響 ③参加者の声や支援者の声 ④マスコミなどで取り上げられた記事や資料 &lt;1,000部の活用方法&gt; ①えんがわぼっこの参加者や見学者など ②毎年シニア大学生(200人)に渡しお話をし、自分の住んでいる地域での居場所立上げなどに活用してもらう ③現在居場所活動の所に渡し、お互いに学び合い発展に活用 ④次の10年誌発行までの5年間に、年間200部活用の目安で1000部が達成でき、居場所の立ち上げに寄与できる。</p>
	<p>&lt;アピールポイント&gt; ①この記念誌を見て、新たな居場所づくりや既存の居場所・サロン・カフェなどに刺激になり、お互いに発展ができる ②市民が主役の居場所づくりを方針にしてきた中身が理解していただける ③この記念誌発行により、居場所の中身が具体的になり地域の活性化に期待がもてる。</p>

年間計画	4月	
	5月	
	6月	
	7月	
	8月	
	9月	
	10月	
	11月	
	12月	
	1月	5周年記念誌の原稿依頼と収集作業
	2月	同上作業の継続と編集作業
	3月	3月20日ごろの発行予定
	活動することで期待される地域や社会への具体的な効果・成果 (事業の対象者・参加予定人数も記載)	<p>&lt;「公益性」の視点&gt;  居場所の必要性が言われているけれども、その中身が十分に分かっていない状況である。居場所などでつながりある人はない人に比べ認知症発症リスク減少、居場所参加群は要介護認定率は低くなる、居場所など参加者は健康度も高まるなど全国の経年的追跡調査で明らかになってきている。えんがわぼっこの5年間をまとめることにより、居場所の必要性が具体的に分かり今後の発展に期待できる。全国的に地域包括ケアシステムが叫ばれており、住み慣れた地域で最期までその人らしく過ごせるという、具体的な話し合いに活用ができ、佐久地域の発展に貢献ができる。</p>

<p>活動を継続するための取組や考え方 (資金面、人材等)</p>	<p>&lt;「自立性」の視点&gt; えんがわぼっこは、この5年近く毎週日曜日の午前中に学びや体操、歌声などいろいろなことを行って楽しく交流を深め合う展開している。共に学び合う仲間は多く、人材や資金面も安定してきている。</p>
<p>翌年度以降の活動内容概要</p>	<p>これまで通り、毎週日曜の午前中に学びや楽しむ交流を重ねて、最期まで地域に住み続けられるように支え合っていく。この記念誌をシニア大生などに配布し理解を深め、新たな居場所づくりに努力をしていきたい。</p>
<p>事業の最終目標</p>	<p>5周年記念誌発行により、自らの振り返りとなり更なる発展につながられる。そして、他の居場所に提供することでお互いに切磋琢磨して成長し、新たな居場所づくりにもつながる。更に、地域づくりにも影響を与えられるようになる。</p>